第84号
昭和38年(1963)
12月10日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちあ

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(11月末日現在)
世帯数 7.672
男 18.011人
女 19.348人
計 37.359人

12月の広報メモ
▷歳末たすけあい運動 (1日～25日)
▷年賀郵便特別取り扱い期間 (15日～28日)
▷年末の防犯 (12月中)
▷歳末の火災予防
▷年末の交通事故防止

〝みんなで明るいお正月を〟
歳末たすけあい運動実施

〝みんなで明るい正月を〟と毎年十二月一日から三十一日まで一ヵ月間、全国的に歳末たすけあい運動が実施されます。

この運動の趣旨は、歳末に際しなんらかの障害のため不安定な生活を送っている人々に対し物心両面から温い思いやりと、激励とによってその自立をたすけると共に、この運動をとおしてたすけあいの心を一層高めることを目的としています。

栃尾市でも市内の貧しいかたや結核長期療養者に明るいお正月を迎え、少しでも早く楽しい生活がおくられるようにとの目的で市では歳末たすけあい同情袋(封筒募金)を近く区長さんを通じて皆さんのお宅へお願いにあがりますので、この趣旨をよくご理解くださいましてあたたかいご協力をお願いいたします。

中野俣小に二教室増築

中野俣小学校に理科室など二教室の増築工事が完工しました。

この増築工事は、山本木工所(市内大字鷲逗)が二三一万円で請負、さる六月十五日に着工、十月六日に完工したものです。

建物の大きさは、延四六坪。理科室用の設備、鉄骨非常階段も取付られました。

南中にも工作室が

南中学校にも工作室ができあがりました。

この工事は、坂井建設(市内大字九川)が一〇四万円で請負、さる六月二十五日に着工、十月六日に完工したもので、延六〇坪が増築されました。

回覧板は早く回しましょう

市のいろいろなことをお知らせするため、回覧板を回しますが、なかなかスムースに回らないのが実情のようでいつてきたことを知らずにいたということもありましょう。また、とても忙しく目がとおせなかつたということもありましょう。しかし、回覧板は隣組数軒に回覧されるものですから、できるだけ早く隣組全部を回ることが望ましいのです。しかも 回覧される文書は、ほとんどが 何日までに申込みとか 手続きとかというように期限に関係のあるものがほとんどです。したがつてある家にばかり長く放置されてあつて次の家に回さたときは、期限を過ぎていたということでは、次の人に迷惑なことになります。

お互に気をつけて、いくら忙しくともすぐ目をとおし、次に回していただきたいものです。

回覧板は早く回そうではないかということで、ある市民のかたから次のような「回覧板早まわりかぞえうた」をいただきましたので、ご紹介いたします。ほんとによくできております。よくこうらんになり、回覧板が早く回るようご協力ねがいます。

『小暴力』を追放しよう!!

親切・健康・清潔、これが国体を迎える新潟県の合いことばでありますが、親切どころか日常生活に不安や迷惑をかけるような小暴力が横行しておるのではないでしょうか。

たとえば、次のような行為は、小暴力として取締りの対象となりますから被害を受けたり、現場を見たらすぐ警察へ届けましょう。

▽酒に酔つて人にからんだり大声でわめきちらすなど他人に迷惑をかける行為。
▽風呂場、更衣室などをのぞきみする行為。
▽他人の表札、看板などをいたずらする行為。

「火のもとをしつかり見とどけるよい習慣」

回覧板早まわりかぞえうた

一つとや　人のことだと思わずに、読めば身のため家のため
二つとや　二つと無いよな良いことも、読まなきゃわからん回覧板
三つとや　見たふりしないで良く読んで、さつさと回そう回覧板
四つとや　嫁もしゆうともぢち、ばばも、仲よく話そう回覧板
五つとや　いつも受取るすぐ読んで、それで早いがこの家じや
六つとや　ひとんちやくではないのだがうつかり忘れることないか
七つとや　長居きらいな回覧板、宇宙時代だそれ急げ
八つとや　やつて来た来た回覧板、どれどれ読もう下おかず
九つとや　ことしや早いで〇〇組(班)くるくるまわる回覧板
十とや　隣組だよ手を取つて、仲よく回そう回覧板

(作者=南の部落、よみ人知らず)

駐車禁止区域できる
市街地中心部七九六メートル

栃尾市内にもこのほど駐車禁止区域ができました。

区間は、三光の郵便局前から土々町港屋工場前までの県道三五七メートルと、下谷内三さ路から滝之下の栃尾織物整染株式会社までの県道四三九メートルで、十一月二十二日(県公安告示第十五号)から駐車禁止区間となりました。

このように駐車禁止区間が定められたことは、最近非常に車が増加し、せまい県道でしかも交通量が多い区間に車が駐車していることは 円滑な交通をさまたげ、ひえては交通事故がおきるもとともなつているからです。この区間はことしにはいつてからたびたび交通事故が発生し、何人かのかたが傷ついてまだ入院している実状です。

車をもつておられるかたがたには、一面非常に不便もあると思いますが、道路の本質と人命尊重の基本的な考え方につてご協力くださるようお願いします。

なお、市内の主な一時停止カ所は次のところにありますから注意しましょう。

▽金町の松尾屋横
▽金沢橋西側
▽電々公社脇
▽大布橋西側
▽新町の電気会社前

駐車禁止区域の略図

一日一件弱の交通事故

栃尾市の交通事故は、十一月二十二日現在で事故発生七七件、死者二名、負傷者六七名で、昨年一ヵ年の総件数五六件を大きく上回っています。

このほか未届の事故やかるい事故を加えると百件以上発生しているものと推定されます。つまり、狭い栃尾市内のどこかで一日一件弱の交通事故が起きている訳です。このような事故の原因を検討してみますと、必ず、不注意な運転や、歩行によつてのみ事故が起きています。

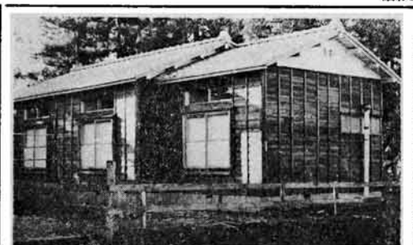
法令を知つておりながら守らないいわゆる法軽視の風潮がまだ運転者にも歩行者の中にも潜在していることが事故発生の原因です。

年末年始にかけては、例年交通事故が増加する赤信号の時期です。交通事故をなくして明るい年末始を迎えるために次のことを守りましょう

◎**運転車のかたへ**
▽飲酒、無免許運転、速度違反は絶対にしないこと。
▽雪が降りますと路面がすべりやすいからすべり止装置を必ずつけること。

◎**歩行者のかたへ**
▽横断歩道のある付近は、必ず歩道を通ること。斜の横断や車の直前直後を横断しないこと。
▽歩行者は、右側のはじを歩き、道いつぱいに広がつて歩かないこと。道の中央付近を歩くことは違反であり危険である。
▽道で子供さんを遊ばせないこと。特にことしは多く事故がおきていますから。

公営住宅10戸が完成
入居者もきまる



市内上ノ原(栃尾中学校に隣接)に公営住宅が十戸(二戸建が五棟)できあがりました。

この公営住宅は、椿建設有限会社市内大字大用戸が五一六万六千円で請負、さる六月二十七日に着工十一月十日に完成したものです。

一棟の大きさは、八間×三間の平屋建であり、これが二戸分に造られており、一戸の床面積は三六・四三平方尺でガス、水道も設備された近代的な住宅です。

十二月から入居

・市営住宅の入居者がきまりました。

◎一月六日消防出初式のためサイレンを鳴らします。　長音一分間

公民館だより

国体とオリンピックの移動公民館入東谷地区へ

十二月十日午后一時から、入東谷公民館において行います。

来年は 新潟県下各地において第十九回の国民体育大会が開催され、これに県民あげて準備に忙殺されています。また秋には第十八回の国際オリンピック大会が東京において開催されます。まさに世紀の壮観であり、日本としてはに、新潟県としては、全県民一丸となつて完遂しなければならない大事業であります。

来春こそ開催されませんが、来春の雪消えをまつて、大会旗のリレーが、長岡から森立峠をこえてくることになつています。またお隣の悠久山で は、水泳大会も開催されますおたがいに清潔に明るく温い気持で、全国の選手を迎えることに、県民運動が展開されています。私共はこの機会にオリンピック写真の展示、新潟国体の歌と踊りの講習と披露、映画会、講演会を行なつて、地域の関心を高めたい。

・あたたかく、やさしく迎える県ぐるみ。

・県民一致の力こぶ。

・清潔、親切、明るい国体。

・親切一ばい、まごころ一ぱい。

仏像四軀 栃尾市文化財に指定

一、東中野俣　東光寺
彫刻第一号、昆沙門天像
二、神布
彫刻第二号、大日如来像
三、一之貝
彫刻第三号、釈迦如来像
四、赤谷
彫刻第四号、薬師如来像

栃尾市文化財準指定
一、上谷内
古文書第二号森田千庵史料
二、山葵谷
技走高跳で優勝、十一月十三日に東京明治神宮外苑国立競技場で開催の第十二回全国青年大会に新潟県代表百三十余名の一員として初出場。全国四七名の猛者と覇を競い一米三五の新記録を樹立し堂々五位入賞。全国青年大会に栃尾市から始めての県代表選手を参加せしめ、日頃の練磨が実を結び、本県陸上入賞確かに二名入賞中の一名であり栃尾市の栄誉を全国に響かせ沈滞がちの青年陸上競技に大輪の鉾花を添えた。

青木ミセ
和田秀敏
和紙製造技術
名児耶ヨシ
手がかり手まり造り技術
三、一之貝
三芸技術第二号
四、三光
栃尾町諏訪神社
諏訪神社春季大祭大名行列
五、三光
書跡第二号窯川大魂書屏風
六、西中野俣
金内定治
七、西中野俣
金内定治
栃尾警察署、書道クラブ、栃尾青年学布いたしますから、ご利用ください。

芸能第二号栃堀神楽大蛇舞
九、西中野俣
建築物第一号　西中野俣区
建築物第二号　野上神社
十、上谷内
建築物第二号　秋葉三尺坊
奥の院
常安寺

以上指定四件、準指定十件が栃尾市教育委員会より指定されました。

参加十八団体文化際終る

一去る十月二十七日の市民籠栃尾市文化祭が、栃尾小学校等を会場に、体育九団体やスポーツ展など、多数の展示で公民館で開催された。展示関係で七五〇〇名(延人員)、出品点数も七八一点と最高、また体育行事も各会場で熱戦がくりひろげられ、二週間にわたつた文化祭行事も無事幕となりました。参加団体は次の通り

サボテンクラブ、生花(池の坊、森社中)、陽光クラブ、書道クラブ、栃尾青年学布いたしますから、ご利用ください。

協同団体の部
栃尾地区連合婦人会

個人表彰の部
石田藤蔵、故熊倉修造、神子田安法、富川仁郎、笠井勇一郎、中西義明、笠井兼一、矢沢清作、笠井正信、若杉正芳、笠井兼正、五十嵐四之右衛門、機部大栄、斎藤与助、高橋大二郎、関根国太、星公平、番場ヤス子、長谷川ユキ、山井新一、八木正隆、佐藤徳治郎、渡辺守、鈴木義政、中西ノブ、笠井哲也、笠井正夫、今井惣吉、酒井哲夫、倉重稔、目黒誠二、大橋勝。

今年も代用門松カードを!!

森林資源愛護と新生活運動の一環として、お正月代用門松カードを一世帯二枚あつて、月末までに区長さんを通し配布いたしますから、ご利用ください。

昭和三十八年度県新生活運動指定地区決まる

半蔵金地区が昭和三十八年度新潟県新生活運動推進地区として指定されました。当地区は、かねてから地域の悪条件を克服して、生活の向上を図るために、米の多収穫、日常食生活の改善、自家生産野菜の需給調整運動、結婚の合理化、地域の歴史的調査にいたしたが、今回の指定によつて一段と地域の特殊性をいかしながら、改善運動が展されるものと期待されています。

このほど県文書広報課大塚係長並に中越出張所原主事の来場があつて、地域リーダー講習が開催され、今后の活躍が注目されています。

【リーダー講習会の一コマ】

栃尾甚句盆踊り十周年記念功労者表彰さる

十一月二十四日、栃尾市公民館二階会議室において、表彰式を行なつた。栃尾市公民館長から次の方々に、感謝の意を表し、感謝状が贈られた。

(敬称略)

高額の寄付を賜つた寄付者

栃尾産業振興会
栃尾織物工業協同組合
栃尾織物整染株式会社
栃尾信用金庫
紺藤整染興業株式会社
椛沢一郎

個人表彰の部
石田藤蔵、故熊倉修造、神子田安法、富川仁郎、笠井勇一郎、中西義明、笠井兼一、矢沢清作、笠井正信、若杉正芳、笠井兼正、五十嵐四之右衛門、斎藤与助、高橋大二郎、関根国太、星公平、番場ヤス子、長谷川ユキ、山井新一、八木正隆、佐藤徳治郎、渡辺守、鈴木義政、中西ノブ、笠井哲也、笠井正夫、今井惣吉、酒井哲夫、倉重稔、目黒誠二、大橋勝。

公営住宅10戸が完成
入居者もきまる

【写真はできあがつた、公営住宅】

工業統計調査
十二月末日現在で実施

毎年行われる工業統計調査が、ことしも十二月三十一日現在で実施されることになりました。今回の調査は、一九六三年世界鉱工業センサスへの参加協力するため調査対象となつて、自動車修理業も加えて、調査することになつております。

そのうち有効投票二八、〇九一票であり、他の三九〇票が無効投票でした。

▽候補者別得票数
(届出順)
大野　市郎(自)二九九二票
田中　角栄(自)六〇八六票
稲村　隆一(社)一五〇〇票
豆　四郎(自)一一三三票
小林　進(社)一三二九票
桐　政美(民)

三三〇票
一七六六票
一二八九票
三三〇票
民主社会党
日本社会党
日本共産党

▽投票率
男　八三・二五%
女　八〇・四四%
計　八一・七三%

投票区別投票率は次表のとおりです。

投票区名	投票所名	男	女	計
1	栃尾市役所	87.01	81.19	83.70
2	栃尾新町	87.07	82.91	84.75
3	栃尾校区	87.23	78.95	82.69
4	栃尾校区	88.24	84.62	86.30
5	栃尾校区	88.56	76.91	82.38
6	栃尾校区	87.55	82.17	84.73
7	栃尾校区	83.52	71.20	76.91
8	栃尾校区	89.77	81.30	85.25
9	栃尾校区	84.62	74.19	79.19
10	栃尾校区	83.55	71.86	77.39
11	栃尾校区	74.19	62.35	68.14
12	栃尾校区	79.01	80.73	79.92
13	栃尾館校区	79.66	83.08	81.47
14	栃尾校区	84.26	79.35	81.54
15	栃尾校区	87.95	85.26	86.53
16	栃尾校区	77.08	73.67	75.29
17	栃尾校区	66.36	74.36	70.48
18	栃尾校区	77.50	87.41	82.75
19	栃尾部落	79.59	89.47	84.91
20	栃尾館合校	75.92	79.14	77.60
21	栃尾校区	77.03	78.95	78.00
22	栃尾館堂校	75.37	85.40	80.44
23	栃尾館校	78.80	82.07	80.43
24	栃尾校区	85.87	87.64	86.74
25	栃尾校区	83.70	89.22	86.60
26	栃尾校区	63.98	83.16	73.99
27	栃尾校区	82.20	87.02	84.74
28	栃尾校区	81.20	90.76	86.02
29	栃尾校区	80.70	82.53	81.63
30	栃尾校区	80.36	92.73	86.49
計		83.25	80.44	81.73

総選挙の結果
本市の投票率八一%

衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査は、さる二十一日行われました。

投票率は前回(昭和三十五年)の八二%を下回り八一%でした。今回の選挙は悲かつたように、有効投票数は一八、四八一票であり、他の三九〇票が無効投票でした。

▽候補者別得票数
(届出順)
大野　市郎(自)二九九二票
田中　角栄(自)六〇八六票
村山　達雄(自)
豆　四郎(自)
小林　進(社)
桐　政美(民)

▽開票の結果
投票総数は一八、四八一票

▽党派別得票数
自民党　一二、〇四三票
社会党　四、三九九票
民主社会党　一、三二九票
共産党　三三〇票

▽投票率
男　八三・二五%
女　八〇・四四%
計　八一・七三%

投票区別投票率は次表のとおりです。

投票区名	投票所名	男	女	計
1	栃尾市役所	87.01	81.19	83.70
2	栃尾新町	87.07	82.91	84.75
3	栃尾校区	87.23	78.95	82.69
4	栃尾校区	88.24	84.62	86.30
5	栃尾校区	88.56	76.91	82.38
6	栃尾校区	87.55	82.17	84.73
7	栃尾校区	83.52	71.20	76.91
8	栃尾校区	89.77	81.30	85.25
9	栃尾校区	84.62	74.19	79.19
10	栃尾校区	83.55	71.86	77.39
11	栃尾校区	74.19	62.35	68.14
12	栃尾校区	79.01	80.73	79.92
13	栃尾館校区	79.66	83.08	81.47
14	栃尾校区	84.26	79.35	81.54
15	栃尾校区	87.95	85.26	86.53
16	栃尾校区	77.08	73.67	75.29
17	栃尾校区	66.36	74.36	70.48
18	栃尾校区	77.50	87.41	82.75
19	栃尾部落	79.59	89.47	84.91
20	栃尾館合校	75.92	79.14	77.60
21	栃尾校区	77.03	78.95	78.00
22	栃尾館堂校	75.37	85.40	80.44
23	栃尾館校	78.80	82.07	80.43
24	栃尾校区	85.87	87.64	86.74
25	栃尾校区	83.70	89.22	86.60
26	栃尾校区	63.98	83.16	73.99
27	栃尾校区	82.20	87.02	84.74
28	栃尾校区	81.20	90.76	86.02
29	栃尾校区	80.70	82.53	81.63
30	栃尾校区	80.36	92.73	86.49
計		83.25	80.44	81.73

防火標語などで特選に入選

新潟県・県消防協会主催で募集した防火標語、防火ポスター一の入選者の表彰式がさる二六日県庁で行われました。これは火災予防思想の普及と高揚を図る目的で小・中・高校生を対象として行なつたもので、特に標語、ポスターとも小学校の部で特選に選ばれました。入選者は次のとおりです。

▽防火標語
小学校の部
▽特選一席　東谷小六年　倉茂富二男
「火のもとをしつかり見とどけるよい習慣」
▽入選三席　東谷小五年　渡辺　喜一
「もう一度まわつてみようかまどの火」

▽防火ポスター
小学校の部
▽特選一席　栃尾小四年　棚村　晴行
▽佳作二席　栃尾小四年　橋本　幸治
▽〃六席　栃尾小六年　五十嵐俊子
▽〃七席　一之貝小六年　吉田あき子

市役所休暇のお知らせ

市役所では、例年のとおり、きたる二十九日から一月三日まで一般事務を休みます。

ただし、死亡届、埋火葬認許証等の交付は当直者がいたします。

十二月の市役所への請求書は二十五日までにお届けください。支払は三十日に行ないます。二十六日以後の請求については翌月に支払いいたしますからご了承ください。

これは、栃尾市の雪害を最少限度に防止する目的で設置された栃尾市雪害対策委員会が、市内官公署代表者、市内各種団体長、市職員の中から三十一人を市長が委嘱したものです。

年賀状は早目に

年末が近づきますと贈答用小包や年賀状で郵便物が激増しますので、これらの郵便物は早めに差し出されるよう郵便局では望んでおります。

▽年賀状は十二月二十二日までに、小包・第三種以下郵便物は十二月十五日までに差し出してください。

▽年賀状のあて名は正しく、はつきりと見易くお忘れなく書いてください。なお、小包には荷札を二枚必ずおつけください。

市雪害対策委員会設置

栃尾市雪害対策委員会が設置されました。